

# ロジスティックス 東西南北

## D e N A ／ヤマト運輸

### 宅配便を自動配達する「ロボネコヤマト」の実用試験



黄色のボディの「ロボネコヤマト」の宅配車（ヤマト運輸）

Tel電話で注文すると、間もなく

ロボットが自宅までピザを届けてくれる——こんなSF映画を昔観た方も多いと思う。当時は「遠い未来の話」と高をくくっていた（アズだが、どうやら、そう遠くはない将来に実現しそうである。

宅配便最大手のヤマト運輸（本社・東京都中央区、長尾 裕社長）は、D e N A。本社・

車（EV）が安全・迅速・丁寧に集配を行なうというイメージを具現化するため、大きな「一步前」が、今回の狙いである。

ただし、今回は、自動運転までは踏み込まず、あくまでも「有人運転」で展開される。主眼は、

①「ロボネコデリバリ―」・自動運転時代を見越した荷物の発送・受け取りのオン・デマンド配達サービス

②「ロボネコストア」・これと連動した買い物代行サービス

の2つを検証し、問題点、改善点を探ること。

実験場所として、国家戦略特区に指定された、神奈川県藤沢市の鵠沼海岸、辻堂東海岸、本鵠沼の

3地区を選び、来年の3月31日まで約1年間続けられる予定だ。

さて、実験の具体的な中身は次の

東京都渋谷区。守安 功社長兼CEO）と共に、4月17日から自動運転を目指した実用実験を開始。名付けて「ロボネコヤマト」だ。もちろん、AIロボットの「黒猫」が荷物を加えて宅配に奔走するわけではない。自動運転の電気自動車（EV）が安全・迅速・丁寧に集配を行なうことを目指すもの。（今回は受け取りだけに限定）。ま

た、配送時間を10分刻みで選ぶことも可能（配送時間は毎日8～21時）で、自宅以外にも、例えば最寄駅や会社、友人宅など、対象エリア内であれば、どこでも受け渡しができる点もミソ。もちろん、冷蔵・冷凍品にも対応。スマホなどを使って、到着3分前には自動音声で知らせててくれるという。

ちなみに、「ロボネコデリバリ―」の利用に関しては無料、また「ロボネコストア」は注文総額が3000円未満の場合、税込324円、同3000円以上の場合は無料。

一方、「ロボネコストア」は、「クロネコデリバリ―」のインフラを十二分に活用したサービスで、ネット上の仮想モールから、対象店舗の商品を一括購入、自動配達することを

とおり。

まず、「ロボネコデリバリ―」は、

ムで確認する、いわば「トレーザビリティ」機能も付加。

わざわざ店先に足を運ばなくとも、

利用者が直接、自動運転の宅配車から自分の荷物を取り出したり、預けたりすることを目指すもの。

（今回は受け取りだけに限定）。また、配送時間を10分刻みで選ぶことも可能（配送時間は毎日8～21時）で、自宅以外にも、例えば最

寄駅や会社、友人宅など、対象エリア内であれば、どこでも受け渡しができる点もミソ。もちろん、冷蔵・冷凍品にも対応。スマホなどを使って、到着3分前には自動音声で知らせててくれるという。

ちなみに、「ロボネコデリバリ―」の利用に関しては無料、また「ロボ

ネコストア」は注文総額が3000円未満の場合、税込324円、同3000円以上の場合は無料。

一方、「ロボネコストア」は、「クロネコデリバリ―」のインフラを十二分に活用したサービスで、ネット上の仮想モールから、対象店舗の商品を一括購入、自動配達することを

荷物はセルフサービスで受け取る（ヤマト運輸）



モールに登録する地元商店街の店舗のお気に入り商品を注文、スマホ